



第4回関東学生バレンタインホースショー



上段左より

三石純選手(日本社会人団体馬術連盟)
政田光平選手(全日本高等学校馬術連盟)
山守紘生選手(弦巻騎道スポーツ少年団)
出柄紳選手(全日本高等学校馬術連盟)

下段左より

久保知之選手(日本社会人団体馬術連盟)
鞆永楓選手(全日本高等学校馬術連盟)
長谷川紀実果選手(弦巻騎道スポーツ少年団)

【加盟大学一覧】



青山学院大学



麻布大学



茨城大学



宇都宮大学



学習院大学



群馬大学



慶應義塾大学



慶應義塾大学
(医学部)



昭和医科大学



成蹊大学



成城大学



専修大学



拓殖大学



千葉大学



中央大学



筑波大学



東海大学



東京大学



東京医科大学



東京農業大学



東京農工大学



日本大学



日本医科大学



日本獣医生命科学大学



法政大学



明治大学



立教大学



WASEDA University
早稻田大学

早稻田大学

第4回関東学生バレンタインホースショーご挨拶



関東学生馬術協会 会長 諸岡 慶

第4回関東学生バレンタインホースショーの開催にあたり、ご挨拶申し上げます。本大会は、日本大学馬術部が主催してまいりました「六会ホースショー」を前身とし、その理念を継承しつつ、内容を発展させながら開催している学生馬術競技会です。

馬術経験の浅い選手の皆様にも、安全で楽しく競技会への出場経験を積んでいただくとともに、競技を通じて基本的なマナーや心構えを学んでいただくことを目的としています。また他大学の選手との交流を促し、学生馬術の裾野を広げることも本大会の重要な役割の一つです。

回を重ね、本大会は本年で第4回目の開催を迎えることとなりました。これまでの開催を通じて、学生同士が互いに刺激を受けながら成長していく姿が見られ、本大会が着実に学生馬術の育成と交流の場として定着してきていることを大変嬉しく思っております。

選手の皆様におかれましては、日頃の練習の成果を十分に発揮するとともに、競技を通じて自身の課題や今後の成長につなげていただければ幸いです。また、経験ある選手の皆様には、本大会に出場する選手が安全に競技を終えられるよう、周囲への配慮と模範となる行動により大会運営を支えていただくことを期待しております。

本大会は、2月14日から2日間にわたり日本中央競馬会馬事公苑にて開催されます。貸与馬による競技となるため、参加選手の皆様は初めて騎乗する馬で競技に臨むこととなります。限られた時間の中で馬と向き合い、信頼関係を築こうとする経験は、今後の競技力向上において大きな糧となるものです。一鞍一鞍を大切に、真摯な姿勢で競技に臨んでいただきたいと思います。

結びに、本大会の開催にあたり多大なるご支援とご協力を賜りました日本中央競馬会馬事公苑の皆様、貸与馬をご提供いただきました関係大学の皆様、ならびに大会役員・関係者の皆様に対しまして心より厚く御礼申し上げます。

大会役員 (敬称略・順不同)

敬称大略・順不同)

大会会長	諸岡 慶	
大会副会長	加藤 佐代子	
顧問	小川 謙 山内 英樹 大久保 公裕	竹田 恒和 長友 満則
参与	酒葉 政行 龍 家圭 西山 慶太 山田 武 高松 萌子 矢下 有咲 梁景 太 深野 聰 岩崎 幸治 和田 雅雄	大場 泰子 久保田 隆夫 阿部 和実 井上 敬一郎 野口 陽 佐藤 五志 伊藤 慎太郎 塚本 浩一 小川 登美夫
大会委員長	加藤 佐代子	木村 至 伊藤 督倫 伊藤 剛二 大藪 俊介 白井 昭 土橋 武雄 水田 貴 加藤 佐代子 松田 潔
競技運営委員長	深野 聰	
幹事長	長谷 穂乃佳 (法政)	
副幹事長	小方 美咲 (学習院)	
救護医	土屋 静馬	延澤 明日香
救護看護師	武田 登与美	
獣医師	中村 千香子	
装蹄師	前田 圭太	
馬場審判長	河野 正寿	
障害審判長	水田 貴	
馬場審判員	松本 東馬	小林 昂嗣
障害審判員	小久保 利巧	伊藤 誠純
コースデザイナー	大町 孝浩	
スチュワード	孕石 智司	中山 颯慈
	野口 耕祐 (青山学院)	小林 昂嗣 (青山学院)
	遠藤 真奈 (東京農工)	山中 智裕 (東京)
競技委員	瀬口 龍也 (日本) 梅村 晏生 (明治)	中山 颯慈 (早稲田) 永田 優斗 (中央)
ステーブルマネージャー	小林 昂嗣 (青山学院)	瀧澤 香月 (麻布)
救護委員	浅井 恒輝 (東京医科)	木戸 悠太 (慶應義塾)
記録委員	平松 直人 坂東 亜貴 (明治)	豊岡 晋 伊澤 心春 (法政)
会計委員	齋藤 璃奈 (東京) 瀧澤 香月 (麻布) 丸山 凌 (東海)	西田 歩夢 (日本)
総務委員	小黒 友葉 (麻布)	中山 凜久 (学習院)
広報委員	木村 真涅菜 (立教)	山海 真凜 (慶應義塾)
涉外委員	小方 美咲 (学習院)	越賀 桜子 (東京農業)
放送委員	廣瀬 創子 (慶應義塾)	伊藤 花音 (青山学院)
	吉田 理央奈 (麻布)	
庶務委員	中山 凜久 (学習院)	若林 はな (青山学院)
		藤樫 夢來 (専修)

出場団体・選手一覧

団体名(50音順)	第1競技 部班競技	第1競技 部班競技	第2競技 馬場馬術競技 第2課目B	第3競技 ジムカーナ競技	第4競技 60cm 障害馬術競技	第5競技 80cm 障害馬術競技
青山学院大学	木村 武志	津森 裕菜	後藤 雄斗	川口 真緒	松村 隼	小林 凜
一般社団法人全日本高等学校馬術連盟	小山 ひかり	吉田 紗良	加藤 心絆	植田 直敬	小山 ひかり	岡村 航
一般社団法人日本社会人団体馬術連盟	内田 涼子	吉岡 亜紀子	本間 伸代	太田 進	木島 龍一	新井 佳代子
茨城大学	中島 香菜	佐野 佳月	鈴木 彩奈	鈴木 陸広	笹田 圭太	笹田 圭太
宇都宮大学	馬渡 優	栗原 詩乃	橋本 航太朗	坂井 ひかり	堤 拓也	伊藤 遼
学習院大学	加瀬 あかり	志井 晴美	柴田 瑠子	吉岡 大地	小池 レイ	高名 真之
関東学生幹事	伊澤 心春	齋藤 瑞奈	若林 はな	稻葉 千穂	伊藤 花音	瀧澤 香月
慶應義塾大学	高見 大毅	佐近えみり	角田 舞	山海 真凜	木村 開	巖田 晴士朗
慶應義塾大学医学部	—	—	川口 桃空	—	川口 桃空	鳴海 進志
昭和医科大学	森 鈎太	久保 達生	森 鈎太	久保 達生	サムエル あかり	清水 等子
成蹊大学	戸塚 結理	伊藤 正浩	大井 秋乃	瀧田 結	小谷 紗栄	奥 純哉
成城大学	中山 青織葉	宮原 将希	徳田 さくら	高見澤 侑立	村上 大輔	瀬野 紫織
専修大学	井上 朔	—	井上 朔	—	井上 朔	井上 朔
千葉大学	川田 佳未	上岡 健悟	吉成 礼音	浅間 一輝	飯塚 啓介	室賀 優希
筑波大学	小西 桃愛	南部 渚	赤田 弥和	山下 モカ	大澤 蒼生	田村 一花
弦巻騎道スポーツ少年団A	高橋 栄莉菜	小塩 遥香	セルフ里見 マデリン故来	二宮 和佳	小塩 龍之介	高橋 栄莉菜
弦巻騎道スポーツ少年団B	秋山 綾香	城田 百乃香	城田 百乃香	坂井 景祐	秋山 綾香	長谷川 紀実果
東京大学	土屋 有莉那	檜崎 蓮	岩田 雄来	檜崎 蓮	岩田 雄来	神谷 悠暉
東京医科大学	會田 泰陸	大高 幸花	高岡 美羽	青木 優成	青木 優成	鈴木 千草
東京農業大学	山本 凜	坂田 彩音	越賀 桜子	所 夏海	伊藤 杏	越賀 桜子
東邦大学	杉浦 昇一郎	神原 愛	杉浦 昇一郎	神原 愛	川野 由菜	山萬 桜子
日本大学	丸山 優	橋崎 真奈	西田 歩夢	西田 歩夢	西田 歩夢	井上 明大
日本医科大学	内田 茗子	本橋 紀子	本橋 紀子	本橋 紀子	有田 暖	久連石 晃子
法政大学	小林 壱吹	加藤 広夢	吉野 桜季	久保 結萌乃	長谷 穂乃佳	郡山 祥多
明治大学	出川 紗桜	千崎 暖佳	谷本 日向子	岩城 可奈	延本 恭太郎	清水 大史

(一次エントリー時点)

第4回関東学生バレンタインホースショー

実施要項

バレンタインホースショーの位置づけ

大学から馬術を始めた馬術部員や、競技会出場実績の少ない大学(関東学生馬術協会加盟校以外の大学も含む)の馬術部員を対象に、「団体として競技会に参加する」機会を提供することで、技術向上へのモチベーションを醸成し、大学馬術部のすそ野の拡大に資する。併せて、日本社会人団体馬術連盟、一般社団法人全日本高等学校馬術連盟、日本乗馬少年団連盟との交流を推進することで、少年団/高等学校馬術部～大学馬術部～社会人馬術部へのパイプライン確立に貢献し、生涯スポーツとしての馬術振興につながる活動とする。

なお、本大会における障害馬術競技では、正しい騎乗姿勢と扶助の理解促進を目的として、ハンターシート審査基準を採用する。

- | | | |
|----------|---------------------|-------------------------------------------------------|
| I. 主催 | 関東学生馬術協会 | |
| II. 期日 | 令和8年2月13日(金)～15日(日) | |
| III. 場所 | 日本中央競馬会馬事公苑 | |
| IV. 競技日程 | 2月13日(金) | 入厩 |
| | 2月14日(土) | 第1競技：部班競技
第2競技：JEF第2課目B馬場馬術競技
フレンドシップ(馬匹提供団体対象) |
| | 2月15日(日) | 第3競技：ジムカーナ競技
第4競技：60cm障害馬術競技
第5競技：80cm障害馬術競技 |

1. 参加資格

- (1) 関東学生馬術協会に加盟する大学馬術部、その他の大学馬術部、日本社会人団体馬術連盟、一般社団法人全日本高等学校馬術連盟、日本乗馬少年団連盟、弦巻騎道スポーツ少年団のいずれかに加盟する団体と、その団体に所属する選手。
- (2) 騎乗者資格は必要ないが、その競技に安全に参加できることは各団体にて事前に確認のこと。
- (3) 馬術経験が浅く、競技出場回数が少ない選手を対象とする。大学入学時、馬術経験者であっても、競技出場経験が浅い場合は参加を認める。
- (4) 各大学 1 チーム参加でき、2 名以上の選手で団体を編成すること。各競技 1 名(部班競技のみ 2 名)の参加とする。1 名が同じチーム内で複数の競技に参加することを認める。
- (5) 参加料は 1 チームあたり下記のとおりとする。出場しない競技がある場合についても一律とする。

	貸与馬提供なし	貸与馬提供あり
関東学生馬術協会加盟校	60,000 円	40,000 円
それ以外の団体	90,000 円	70,000 円

※ 貸与いただいた馬は、原則 1 日 3 鞍まで、2 日間使用します。

- (6) 選手の人数が揃わない場合、複数の大学で混成チームを組むことを認める。個人参加は原則認めない。関東学生馬術協会幹事団で 1 チーム編成する。これは(4)とは別枠とするが、同じ選手が異なるチームに参加することは出来ない。日本社会人団体馬術連盟、一般社団法人全日本高等学校馬術連盟、日本乗馬少年団連盟においては、それぞれ 1 チームまでの参加とする。弦巻騎道スポーツ少年団については、2 チームまで参加できる。

2. 競技規程

(1) 使用馬匹

馬匹は全て貸与馬を使用し、各競技くじ引きにより騎乗馬を決定する。

(2) 第1競技：部班競技

A) JEF 競技会規程を適用する。補助具は、貸与馬提供元の判断に従い、ネックスト

レッチ、折り返し手綱、ランニングマルタンガールを使用可とする。

長鞭は使用可、拍車の使用は任意とするが、貸与馬提供元の指示に従う事。

B) 部班の組み合わせは抽選で決定し、1部班5名以内で実施する。

(同一団体の選手は同じ部班にならないよう尽可能な範囲で考慮される。)

A班・B班の2班に分けて同時に実施する。

C) 審判員は、運動課目と総合観察を採点する。

イ) 部班審判基準

運動項目 ……30点満点(審査用紙参照)

総合観察 ……30点満点

ロ) 総合観察内訳

騎手の姿勢と騎座の位置 ……10点満点

運動の正確性 ……10点満点

距離・間隔 ……10点満点

(3) 第2競技：JEF第2課目B馬場馬術競技

A) JEF 競技会規程(馬場馬術)を適用する。

補助具の使用については、第1競技と同様とする。

B) A班・B班の2班に分けて同時に実施する。

(4) 第3競技：ジムカーナ競技

JEF 競技会規程第239条基準Cに基づく採点方法を採用したローカルルールで行う。基準タイムを設け、基準タイムに近い選手が上位となる。

障害を使う場合はクロスバーまでとする。

A) 障害落下…4秒加算

B) 反抗…反抗による失権無し

(5) 第4・5競技：障害馬術競技 JEF 競技会規程第236条基準Aに基づく採点方法とハシターシートを採用したローカルルールで行う。

(6) 準備運動

部班競技及び馬場馬術競技は5分間とする。障害飛越競技は3分間2飛越以内とする。ただし、反抗は2回で1飛越とカウントする。

(7) 馬見せ

障害飛越競技は大会役員の指示に従い、垂直障害とオクサー障害を飛越する。

馬場馬術競技は部班を行い、大会役員の号令に従って全員で運動を行う。

3. 順位決定方法

(1) 第1競技：部班競技

個人順位は得点の高い者を上位とする。同点の場合主審の得点が高い方を上位とする。さらに同得点の場合は同順位とする。2班(A班・B班)に分けて実施し班ごとに順位を決定する。

(2) 第2競技：第2課目B馬場馬術競技

個人順位は最終得点率が高い選手を上位とする。最終得点率が同率となった場合は、各審判員が出したスコアの中央値が高い選手を上位とする。中央値も同率の場合は、同順位とする。2班(A班・B班)に分けて実施し班ごとに順位を決定する。

(3) 第3競技：ジムカーナ競技

個人順位は、JEF競技規程第239条基準Cに基づく採点方法に従う。基準タイムに近い者を上位とする。同タイム差の場合は同順位とする。

(4) 第4・5競技：障害馬術競技

個人順位は、JEF競技規程第236条基準Aに基づく採点方法に従う。同減点内では、ハンターシートの評価が高い者を上位とする。同減点・同評価の場合は同順位とする。ハンターシートの評価基準は別途定めて事前に公開する。

4. 表彰

(1) 出場頭数の1/4までを入賞とする。団体は6位まで入賞とする。個人は各競技3位まで入賞する。(部班・馬場はA班B班に分けて表彰を行う)

5. ポイント

団体の順位は参加した競技の順位ポイントの合計で決定する。各競技の順位ポイントは下記のとおりとする。(第1競技、第2競技はA班・B班のそれぞれの順位に対して以下のポイントが加算される)

順位	第1競技	第2競技	第3競技	第4競技	第5競技
1	50	70	40	60	70
2	45	60	35	55	65
3	40	50	30	50	60
4	35	40	25	45	55
5	30	30	20	40	50
6	25	20	15	35	45
7	20	15	10	30	40
8	15	10	5	25	35
9	13	8	5	20	30
10	10	5	5	15	25
11以下	4	3	3	5	5
失權	1	1	1	1	1

【過去成績】

部班競技AB班

回数	年度	優勝	第2位	第3位
第1回	令和5年	小林 真子（東京）	奥田 環（学習院）	小野寺 唯（明治）
第2回	令和6年	前原 理（東京農業）	桃田 福之丞（専修）	板垣 翔明（日本）
第3回	令和7年	三石 純瑠（社馬連）	上岡 夏帆（東京）	久連石 晃子（日本医科）

部班競技CD班

回数	年度	優勝	第2位	第3位
第1回	令和5年	斎藤 百香（幹事チーム）	桃田 福之丞（専修）	上野 悟（慶應義塾）
第3回	令和7年	政田 光平（高馬連）	坂東 亜貴（関東幹事）	久保 結萌乃（法政）

馬場馬術競技 第2課目B A面

回数	年度	優勝	第2位	第3位
第1回	令和5年	松前 陽哉（東京）	桃田 福之丞（専修）	高廣 峻良（幹事チーム）
第2回	令和6年	中西 肇介（山梨）	今村 優花（青山学院）	大塚 雄生（高馬連）
第3回	令和7年	山守紘生（弦巻少年団）	大井秋乃（成蹊）	峯田楽和（高馬連）

馬場馬術競技 第2課目B B面

回数	年度	優勝	第2位	第3位
第1回	令和5年	荒木 美緒（日本）	浅川 美文（早稲田）	高田 一輝（日本社会人団体）
第2回	令和6年	桃田 福之丞（専修）	三浦 寧子（東京）	三宅 熙一朗（慶應義塾）
第3回	令和7年	出柄 絆（高馬連）	佐藤 あおい（学習院）	飯塚 啓介（千葉）

ジムカーナ競技

回数	年度	優勝	第2位	第3位
第1回	令和5年	丸山 くらら（学習院）	堀響 希（昭和）	唐梨子 颯（専修）
第2回	令和6年	斎藤 百香（関東幹事）	遠藤 真一（東京農業）	瀬野 紫織（成城）
第3回	令和7年	久保 知之（社馬連）	二宮 和佳（弦巻少年団）	小塩 遥香（弦巻少年団）

障害馬術競技 60cm

回数	年度	優勝	2位	3位
第1回	令和5年	桃田 福之丞（専修）	坂尻 大騎（山梨）	チャイソクヘン（学習院）
第2回	令和6年	松島 直也（成城）	三掘 さくら（慶應義塾医）	唐梨子 颯（専修）
第3回	令和7年	鞆永 楓（高馬連）	瀬野 紫織（成城）	福渡 淑（昭和）

障害馬術競技 80cm

回数	年度	優勝	2位	3位
第1回	令和5年	斎藤 遥（日本社会人団体）	桃田 福之丞（専修）	後藤 歩（幹事チーム）
第2回	令和6年	板垣 翔明（日本）	三宅 熙一朗（慶應義塾）	山城 瑞輝（成城）
第3回	令和7年	長谷川紀実果（弦巻少年団）	加藤凱也（早稲田）	小野寺由紀子（社馬連）

団体成績

回数	年度	優勝	第2位	第3位
第1回	令和5年	専修大学	幹事チーム	学習院大学
第2回	令和6年	専修大学	成城大学	日本大学
第3回	令和7年	社馬連	弦巻少年団	高馬連

〈期間限定〉

2/13(金)~2/15(日)

—学生証提示で—

学割
30%
OFF

※一部対象外商品ございます



日本馬事普及 SHOW ROOM

東京都世田谷区桜3-13-9 パセーオ馬事公苑 1F

TEL : 03-5451-7311



卒業しても馬と共に

一會社にも馬術部がありますー

◆メーカー・機械・建設・運輸

パナソニック馬術部
パナソニックシステム
ネットワークス馬術部
レックス工業馬術部
JR東日本馬術クラブ
ソニー馬術部
青波馬術愛好会
(住友重機械工業)

梅村建工馬術部
日本航空馬術部
クリエイティブ
テクノロジー
乗馬愛好部

▶ 金融・商社

伊藤忠商事相互会乗馬部
SOMPOホールディングス馬術部
三井物産乗馬部
山田コンサルティンググループ乗馬同好会
オーリックス乗馬部

関連会社社員も入部できる場合があります
(例) NTT馬術部にはNTTドコモなど
グループ会社の社員も入部できます

※ 正式な団体名称は下部加盟団体をご覧ください

こんなにある!
社馬連のメリット

- ・連盟主催の競技会や講習会、資格審査会などに参加可能
- ・提携乗馬クラブや乗馬用品ショップでの割引などの特典
- ・貸与馬にてリースナブルに競技会に出場できます
- ・異業種他社の会員の方々と交流できます
- ・馬事に関する社会貢献活動などに参加できます

CHECK!



学生の皆様へ、OB/OG訪問、会社紹介、馬術部設立アドバイス、
個別お問い合わせは <https://jbg.jp/univ> へ!



一般社団法人

日本社会人団体馬術連盟

Japan Business Group Equestrian Federation

日本社会人団体馬術連盟(社馬連/JBG)は日本馬術連盟の組成団体の1つとして

スポーツ馬術を通じた企業の社会貢献と乗馬の普及・馬事の振興を目指しています

Homepage

Facebook

X (Twitter)

Instagram

YouTube

LINE

一般社団法人 日本社会人団体馬術連盟

〒104-0033

東京都中央区新川2-6-16-405 馬事畜産会館4階

TEL: 03-3297-5630 FAX: 03-3297-5636

Homepage: <https://www.jbg.jp/>

E-mail: shabaren@jbg.jp

[加盟団体] 伊藤忠商事(株)相互会乗馬部/梅村建工(株)馬術部/クリエイティブテクノロジー乗馬愛好部/警視庁馬術クラブ/皇宮警察本部/(学)昭和医科大学ライディングチーム/JR東日本馬術クラブ/衆議院乗馬会/ソニー馬術部/SOMPOホールディングス馬術部/都庁・特別区乗馬部/TOPPANエッジ(株)馬術部/日本アイ・ビー・エム(株)馬術部/パナソニック(株)馬術部/パナソニックシステムネットワークス(株)馬術部/富士通(株)馬術部/三井物産(株)乗馬部/日本電気(株)馬術部/青波馬術愛好会/オーリックス乗馬部/グーグル馬術部/中部国際空港馬術部/TMG系馬同好会/日本航空馬術部/日本知的財産協会馬術部/(株)日本電気保安協会馬術部/(株)日本馬事会社及馬事研究部/防衛省乗馬同好会/(株)三菱総合研究所馬術部/山田コンサルティンググループ乗馬同好会/LINEヤフー乗馬部/新潟市馬術協会社会人愛馬会

(2025年11月1日現在)



◆ 情報・通信
TOPPANエッジ馬術部
日本IBM馬術部
富士通馬術部
グーグル馬術部
LINEヤフー乗馬部
三菱総合研究所馬術部

◆ 公社・官公庁・団体
警視庁馬術クラブ
皇宮警察本部
衆議院乗馬会
都庁・特別区乗馬部
防衛省乗馬同好会
TMG乗馬同好会
日本知的財産協会馬術部
新潟市馬術協会社会人愛馬会

◆ リテール・サービス
昭和医科大学ライディングチーム
日本馬事普及馬事研究部
中部国際空港馬術部
日本電気保安協会馬術部



ミニチュアホース買付/生産/販売
イベント出張/馬雑貨移動販売

ミニチュアホースのお仕事のご依頼は ファラベラファームまで

falabellafarm.co@gmail.com

出張場所の例

保育園、幼稚園、福祉施設、老人ホーム、
住宅展示場、お祭り、イベント

お仕事内容の例

ふれあい、ブラシ、餌やり、お散歩体験/
記念撮影/お祭りのパレードや行列/
サンプル配布やお花売り/

ONLINE STORE
YOUTUBE・SNS↓





馬に恋する、新しい生活。

Horse riding and lifestyle JODHPURS

JODHPURS (ジョッパーズ)
乗馬用品 & ライフスタイル

TEL:0120-969-232



<https://jodhpurs.jp>

法人取引のご相談、資料請求など

TEL:06-6314-6191(法人担当まで)

Mail:biz@jodhpurs.jp

